

前回都市計画審議会の振り返りと今回の議題

(1) 前回都市計画審議会で頂いたご意見とその対応方針

< 令和 6 年度第 1 回朝霞市都市計画審議会 >

日時：令和 6 年 7 月 2 日（火）14：00～17：00

場所：朝霞市役所 別館 5 階 大会議室（奥）

ご意見（要約）	対応方針
●現況整理についてのご意見	
人口や土地利用、産業、都市施設など、現状の整理をしっかりと行うこと	人口や土地利用など朝霞市の基本的な情報を整理し、20 年間の変化を更新した。（資料 3 及び参考資料 2 参照）
朝霞市の状況を判断するために隣接市町などの他都市の比較を加えること	将来像の実現に向けた課題の整理の根拠として隣接市町との比較を追加するなど、朝霞市の状況が把握しやすいよう表現を工夫した。（参考資料 3 参照）
●都市計画マスタープランの構成に関するご意見	
テーマ型は市民のにとってわかりやすい構成であるが、総合計画との差異がわかりづらくなる恐れがある。そのため総合計画との役割分担を明示するなど関係性を整理しておく必要がある	総合計画と都市マスの関係性を資料に明示した。（次頁参照）
市民にわかりやすい計画にするととの観点で、都市マスの構成をテーマ型とすることが望ましい	前回都計審における各委員から頂いたご意見を踏まえ、都市マスの構成を「テーマ型」として進めていきたい。
各課の役割や責任を明確にするために、逆引き整理は必要である	都市マスの構成として「テーマ型」を採用する場合は、各課の施策が明確となるよう逆引きを整理する。（資料 3 参照）
現状及び将来見通しを踏まえ、朝霞市の都市づくりの課題を明確にすること	将来像の実現に向けた課題の整理では、ご指摘を踏まえ整理した。（資料 3、参考資料 2 及び参考資料 3 参照）
●その他	
計画書の整理においては、ビジュアルを意識しつつ、読みやすく、手に取りやすいよう工夫をしてほしい	本編の作成においては、読みやすく、手に取っていただけるよう表現等を意識し取り組んでいく

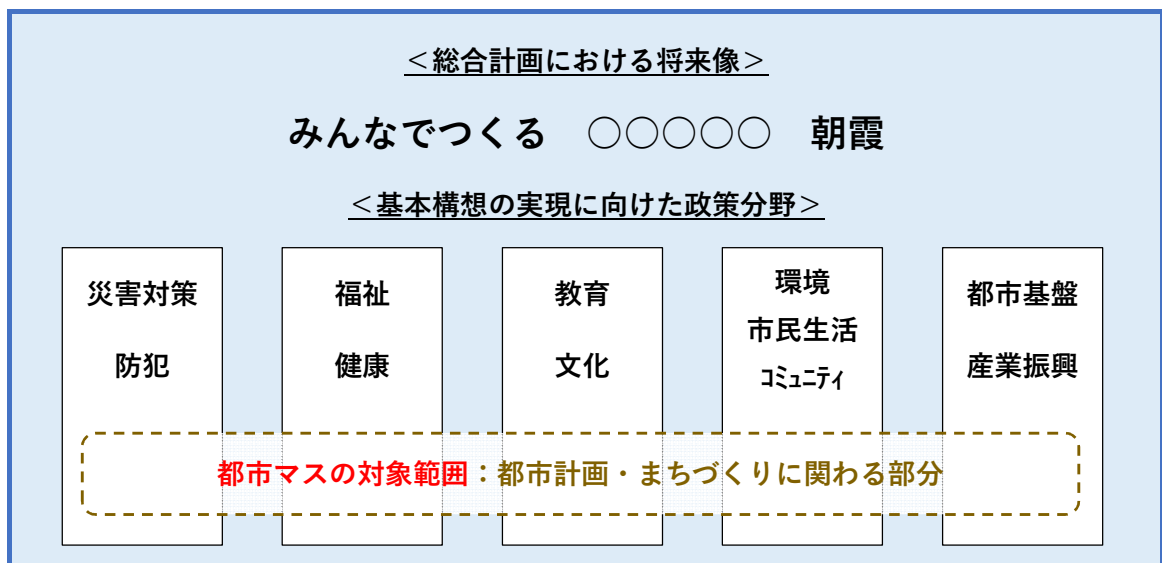
(2) 都市マスの構成について

前回の都市計画審議会における都市マスの構成に関する意見や、先日実施した第3回庁内検討委員会での結果（次頁（4）を参照）を踏まえ、次期都市マスの構成は『テーマ型』を採用する。

ただし、懸念される事項については以下のように対応する。

テーマ型の都市マスに対する懸念事項	対応方針
①テーマ型は市民のにとってわかりやすい構成であるが、総合計画との差異がわかりづらくなる恐れがある。そのため総合計画との役割分担を明示するなど関係性を整理しておく必要がある。	⇒総合計画との役割分担を明確にする。（以下を参照）
②各課の役割や責任を明確にするために、逆引き整理は必要である。	⇒庁内における役割分担を明確にするため、これまでの分野別等による逆引き資料を整理する。（資料3を参照）
③どのようにしてテーマが出てきたのか、その根拠をきちんと示す必要がある。	⇒テーマが導き出される考え方を整理する。（資料3を参照）

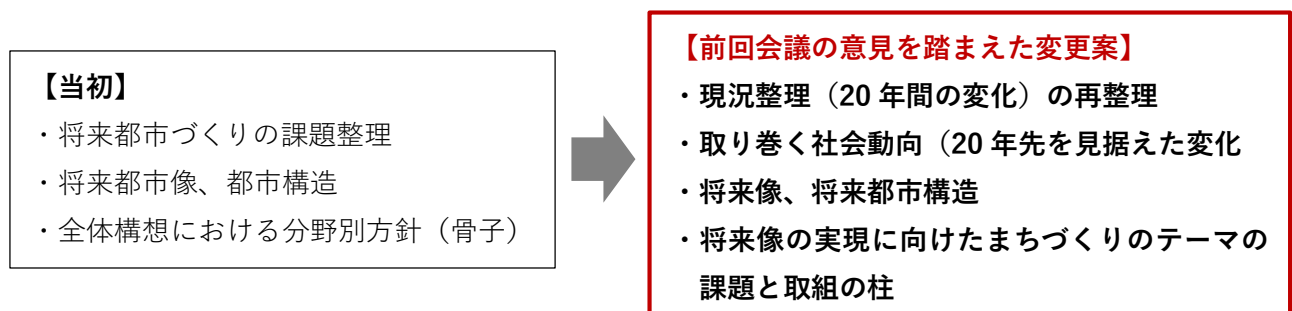
■総合計画と都市マスの関係性



※総合計画の将来像等に関しては「R6.8.26 第7回朝霞市総合計画審議会資料」より

(3) 今回の議題

前回の都市計画審議会で頂いた意見を踏まえ、今回の議題を以下のように変更した。



(4) 第3回庁内検討委員会での意見とその対応状況

<第3回庁内検討委員会>

日時：令和6年9月3日（火）10：00～11：30

場所：朝霞市役所 別館5階 大会議室（奥）

ご意見（要約）	対応方針
●将来都市構造図について	
都市機能補完ゾーンのうち、「医療と福祉と教育の拠点エリア」と「国道254号バイパス沿道エリア」は、防災上の課題を有しており、計画的な土地利用の誘導は防災上の対策をしたうえで話である。内容の欄に補足説明が必要である。	指摘を踏まえ、内容欄のコメントを「水害等に対する防災対策や豊かな自然環境との調和を考慮したうえで、公共的な機能の維持または計画的な誘導を図ります」に修正した。
県道79号線（朝霞蕨線）沿いが適正な誘導を図る範囲から外れているが、適正な公共施設を備えた宅地に変わることを鑑みると、このエリアを外すのは良くないのではないか。	国道254号バイパス沿道に設定されている都市機能補完ゾーンを県道79号線沿道も含めるよう拡大した。
水と緑の拠点として、城山公園や郷戸特別緑地保全地区周辺等が位置付けられているが、どのような基準で示されているのか。	<p>庁内調整により、水と緑の拠点として以下の6箇所を位置付けることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基地跡地周辺 ・朝霞調整池、わくわく田島緑地周辺 ・城山公園 ・郷戸特別緑地保全地区周辺 ・宮戸特別緑地保全地区周辺 ・島の上公園
●テーマの設定について	
都市マスの構成は「テーマ型」とすることで問題ない。（全員異議なし）	庁内検討委員会で都市マスの構成を「テーマ型」とすることの意思決定がされたことを、次回都市計画審議会に報告する。
5つのテーマが横並びになるのは違和感があり、「安らぎ心地よさ」「安全・安心」が土台となり、その上にそれ以外のテーマがあるイメージではないか。	指摘を踏まえ、まちづくりのテーマ設定の模式図の見直しを行い、「安らぎ心地よさ」「安全・安心」の都市基盤の土台の上に「くらし」「にぎわい・活力」「快適な移動」の3つの朝霞らしさを伸ばすテーマがあるような見せ方とした。
「安全・安心」と「安心・安全」のどちらが表現として適切か	総合計画側と調整し、「安全・安心」で統一することとした。
●現況整理	
現況整理はされているが、その評価が良いのか悪いのかわからない。そのため、現況に対する解釈を追加し、どのような問題があるのかを整理してほしい。	現況整理によるこれまでの20年間の変化を踏まえ、朝霞市の「プラス評価の事項（伸ばしていくべき部分）」と「今後留意すべき事項（改善や対策が必要な部分）」を見える化し、合わせてその根拠資料を追加した。